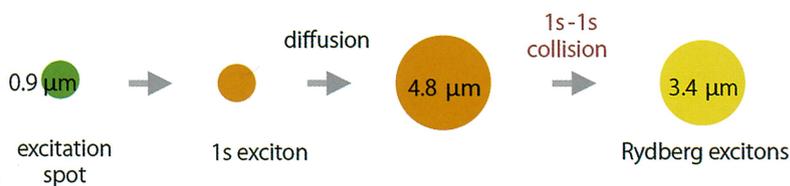
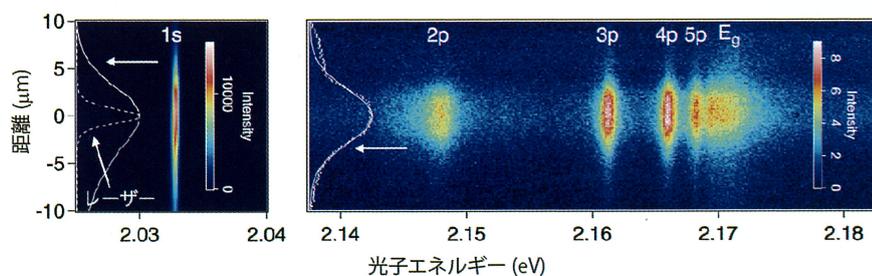
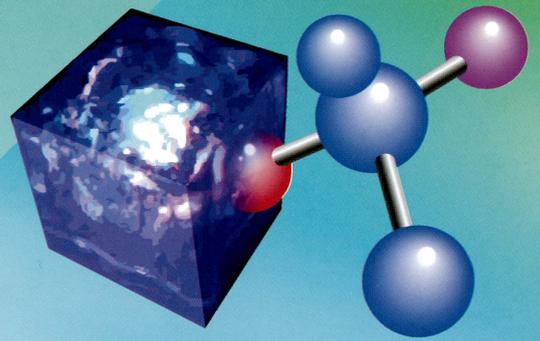


京都大学 物性科学 センター誌

(LTM センター誌)



Low Temperature and Materials Sciences [Kyoto University]



励起波長532 nmの定常光励起のもとで得られた4KのCu₂Oにおける励起子発光の空間分解スペクトルと1s励起子の拡散および二体衝突による発光信号の空間幅を説明する概念図

第35号

2019.12

目 次

第 35 号 2019 年 12 月

研究ノート

リユードベリ励起子の分光研究

..... 中 暢子, 高畑光善 ... 3

蛍光性や触媒機能を有する機能性核酸の開発

..... 朴 昭映 ... 11

サロン

国際周期表年 2019 の特別展を京都大学で開催

..... 前野悦輝 ... 17

運営状況

寒剤供給状況 吉田キャンパス・宇治キャンパス・桂キャンパス..... 20

環境安全保健機構併任教員..... 22

投稿案内..... 23

編集後記..... 24

Table of Contents

Research Reports

Spectroscopic study on Rydberg excitons ··· Nobuko Naka and Mitsuyoshi Takahata ··· 3

Development of Functionalized DNA as Fluorescent Probes and Catalysts
..... Soyoung Park ··· 11

Saron

International Year of Periodic Table 2019 (IYPT2019) Kyoto Event
..... Yoshiteru Maeno ··· 17

From Organizing Committee

Amounts of Cryogen Consumptions : Yoshida Campus, Uji Campus and Katsura Campus
..... 20

Concurrent Staffs of the LTM Center 22

Call for Manuscript 23

Editor's Note 24

「京都大学物性科学センター誌（LTMセンター誌）」への投稿のお誘い
並びに原稿の作成要領
Call for Manuscripts for
"Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University)"

吉村一良^{1,2}, 編集委員会²

¹京都大学大学院理学研究科, ²京都大学物性科学センター

K. Yoshimura^{1,2} and Editorial Committee²

¹Graduate School of Science, Kyoto University,

²Research Center for Low Temperature and Materials Sciences, Kyoto University

所属の後にAbstractを数行、英文で書いてください。

1. はじめに

「京都大学物性科学センター誌（通称：LTMセンター誌，英文名：Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University)）では，環境安全保健機構が提供する寒剤・共通機器の利用者の皆様や関係者の皆様より「研究ノート」，「技術ノート」，「サロン」への投稿を歓迎いたします。投稿されました原稿は，編集委員会で審議のうえ掲載の可否を決定いたします。投稿にあたっては，電子ファイルを下記[†]宛にお送りください。また，併せて印刷原稿も[†]宛に郵送または持参いただきますようお願いいたします。初校刷りは電子ファイルより作成しますので，以下第2章を御参照のうえMS-Wordを用いて作成してください。InDesignまたはQuarkXPressのファイルでも結構です。また，pdfファイルも併せてお送りください。なお，編集委員会からの原稿依頼も行いますので，依頼させていただいた際にはよろしくお申し上げます。

2. 原稿の作成要領

A4用紙（レターサイズではありません）の上下左右に25 mm ずつマージンをとって，和文表題，英文表題，和文著者・所属，英文著者・所属，アブストラクト（英文），本文，参考文献，著者写真（35mm（幅）×40mm（高さ）），著者略歴の順に記述してください。1 ページ目は，必ず上から5 cm程度余白を空けて表題を書いてください。本文1行あたり全角45文字，1ページあたり40行を基準にしてください。漢字・かな・カナにはMS明朝，英字・数字には必ずTimes New Roman，本文中の見出しにはMSゴシック（またはこれらに準じる書体にしてください。ボールドは避けてください。）を使用してください。表題は14 point，著者・所属は12 point，本文は10.5 point，図・表のキャプションは10 pointの文字を用いてください。本文中，物理記号を表す記号は斜体（イタリック），単位記号は立体（ローマン）で表記し，物理量と単位の間や数字と記号の間にはスペースを1個入れてください。また，章の間にもスペースを1行設けてください。句読点は「.,」に統一してください。

図は高解像度のものを本文中に貼り付けてください。カラー印刷が可能ですので，できるだけカラーの図を使用してください。印刷原稿の右下に鉛筆でページ番号を振ってください。その他の細部については，本稿ならびに下記Ref. [1,2] のスタイルを参考にしてください。

参 考 文 献

[引用番号] 著者名，雑誌名，巻数，最初のページ番号，年の順でお願いします。
例)

[1] 寺嶋孝仁，京都大学物性科学センター誌 **30**, 26 (2016).

[2] K. Yoshimura, Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University) **1**, 13 (2003).

[†] 京都大学物性科学センター誌編集委員会，〒606-8501京都市左京区吉田本町，
TEL：075-753-9521, FAX: 075-753-9521, E-mail: terashim@scl.kyoto-u.ac.jp（寺嶋孝仁）。

編集後記

低温物質科学研究センターから物性科学センターへの移行に伴い、旧センター専任教員にとって研究・教育、ならびに兼務としての支援業務を遂行する環境が大きく変わり、多々考えさせられながらもその日その日の仕事に追われ、気づけば改組から4年近くが経ってしまいました。そのような日々の中で旧センター時代にお世話になった先生と連絡を取り合うことがあり、国内に新たな放射光施設(東北放射光施設)が設立されることを知ることが出来ました。日頃の不勉強による情報不足を人と人との繋がりで補うことが出来た一例だと思っています。お世話になった先生から教えていただいた話ですので、繋がりと言うのはおこがましい思いもありますが、研究、教育、支援の活動の中で知り合えた“仲間”から面白い話題を知らせていただいたことは教員として嬉しいことでした。

付き合いの深さはそれぞれですが“仲間”を増やすことは研究者にとって大切な事のひとつです。物性科学研究センターに移行後も、毎年、センター講演会・研究交流会が開催されています。例年、当該分野を代表する研究者に講演をいただいています。一方で、ポスター発表形式の研究交流会は最先端研究の重要な結果紹介もあれば、開始早々で成果よりも研究を進めて行く上での夢を披露して下さる発表まで、種々多様です。下世話な言い方をすれば発表される研究成果のレベルは玉石混交状態ですが、その分、自らの研究内容を気楽に紹介しあい、専門分野内外での“仲間”を増やせる好機です。本年度も2月に講演会・研究交流会を開催します。特に学生の皆さんがこの機会を、うまく利用して下さることを願っております。

H. Y

京都大学 物性科学センター誌(LTMセンター誌)

Low Temperature and Materials Sciences

(Kyoto University)

第35号 2019年12月 Volume 35, December 2019

編集委員会：寺嶋 孝仁（編集委員長）、吉村一良、
矢持 秀起、石田 憲二、中村 裕之、
笠原 裕一、藤原 直樹、前里 光彦、藤田 晃司

事務局：〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学環境安全保健機構 物性科学センター
Tel:075-753-9521 Fax:075-753-9521

E-mail: terashim@scl.kyoto-u.ac.jp（寺嶋孝仁）

印刷：創文堂印刷株式会社

研究ノート

- p3 ・ リュードベリ励起子の分光研究
—— 中 暢子, 高畑 光善
- p11 ・ 蛍光性や触媒機能を有する機能性核酸の開発
—— 朴 昭映

サロン

- p17 ・ 国際周期表年2019の特別展を京都大学で開催
—— 前野 悦輝

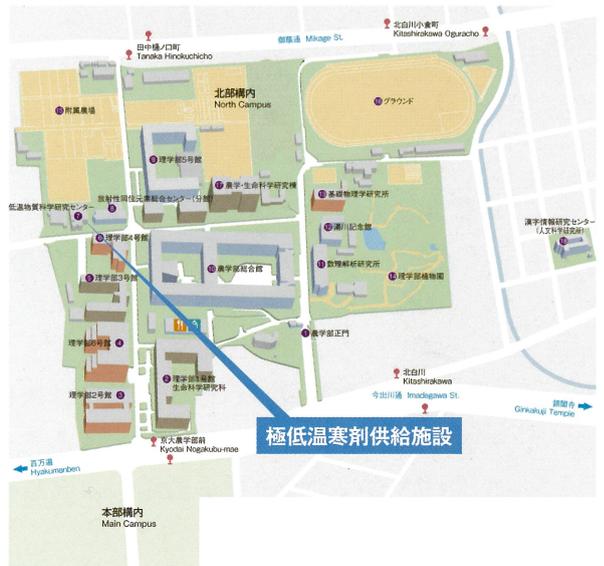
運営状況

- p20 ・ 寒剤供給状況 吉田キャンパス・宇治キャンパス・桂キャンパス
- p22 ・ 環境安全保健機構併任教員

p23 投稿案内

p24 編集後記

吉田キャンパス (北部)



吉田キャンパス (本部)



宇治キャンパス



桂キャンパス

